

保険者機能強化推進交付金について (インセンティブ交付金)

1 趣旨

平成30年度施行の地域包括ケア強化法において、高齢者の自立支援・重度化防止等に向けた市町村の取組や都道府県による保険者支援の取組が全国で実施されるよう、財政的インセンティブを付与する交付金制度が創設された。

市町村や都道府県の様々な取組に対して客観的な指標を設定し、評価に応じて交付金を支給することで、保険者機能の強化を推進していくことを目的としている。

2 概要

(1) 市町村分 (200 億円の内 190 億円程度)

- ア 交付対象 市町村（特別区、広域連合及び一部事務組合を含む。）
- イ 交付方法 評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）及び第1号被保険者数に応じて分配
- ウ 活用方法 介護保険特別会計に充当。高齢者の自立支援・重度化防止、介護予防等に向けて地域支援事業、市町村が独自に取り組む市町村特別給付や保健福祉事業を充実

(2) 都道府県分 (200 億円の内 10 億円程度)

- ア 交付対象 都道府県
- イ 交付方法 評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に応じて分配
- ウ 活用方法 高齢者の自立支援・重度化防止等に向けて市町村を支援する各種事業（市町村に対する研修事業や、リハビリ専門職等の派遣事業等）の事業費に充当

3 評価結果

(1) 平成30年度

順位	保険者	合計 (612 点満点)		交付額 (千円)
		評価点数	得点率	
1	氷見市	540	88.2%	11,195
2	高岡市	527	86.1%	34,645
3	魚津市	525	85.8%	8,621
12	射水市	478	78.1%	15,519
県平均	平均	494.4	80.8%	(合計) 198,571
全国	平均	411.0	67.2%	

(2) 令和元年度

順位	保険者	合計 (692 点満点)		内示額 (千円)
		評価点数	得点率	
1	射水市	599	86.6%	18,052
県平均	平均	524.8	75.8%	(合計) 198,671
全国	平均	428.6	61.9%	

4 評価指標（令和元年度：65項目）

(1) PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化

第7期計画の要介護者数及び要支援者数の見込みに対する実績を把握して進捗管理を行う。

<評価された取組例>

- ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進委員会の開催
- ・地域密着型サービス事業所の整備の推進

(2) ケアマネジメントの質の向上

保険者として、ケアマネジメントに関する保険者の基本方針をケアマネジャーに対して伝える。

<評価された取組例>

- ・新任介護支援専門員研修、高齢者虐待防止研修等の開催

(3) 多職種連携による地域ケア会議の活性化

地域ケア会議において多職種が連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる。

<評価された取組例>

- ・自立支援型ケアマネジメント会議（いみず GENKI にすっぞ！会議）の開催

(4) 介護予防の推進

介護予防の場にリハビリ専門職が関与する仕組みを設けていることと、介護予防に資する住民主体の通いの場への65歳以上の方の参加者数がどの程度であるかを評価する。

<評価された取組例>

- ・きららか射水100歳体操でのリハビリ専門職による体操指導
- ・住民主体の通いの場（きららか射水100歳体操等）への参加者率

(5) 介護給付適正化事業の推進

ケアプラン点検をどの程度実施しているかと、福祉用具や住宅改修の利用に際してリハビリ専門職等が関与する仕組みを設けているかを評価する。

<評価された取組例>

- ・ケアプラン点検の主要5事業（要介護認定の適正化、ケアプラン点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療費情報との突合、介護給付費通知）の実施

(6) 介護人材の確保

必要な介護人材を確保するための具体的な取組を行っているか。

<評価された取組例>

- ・「射水 まち×福祉 共創ラボ」の開催

(7) 要介護状態の維持・改善の度合い

要介護認定者数の要介護認定の変化率がどの程度かを評価する。

<評価結果>

- ・特に軽度者の要介護状態の維持改善が評価